

# インドネシア・スラウェシ島地震津波災害における 健康面の被害

災害医療国際協力学  
江川新一

## 参考) 東日本大震災での医療ニーズ

	外傷	死亡・行方不明	避難者
阪神淡路大震災 1995	43,800	6,433	307,200
東日本大震災 2011	5,942 ↓	19,582 ↑	488,000

- 外傷はむしろ少なく、その他の医療ニーズが多数をしめ、かつ長期間持続しました。
- 交通網と通信の破断が保健医療もマヒさせました。
- 放射線災害が合併しました。
- 被災者のメンタルヘルスも大きな被害を受けました。
- 病院が被災しました。
- 災害医療の教育が十分ではありませんでした。

# 健康面の被害

Central Sulawesi Earthquake (2018年9月28日, M7.4, Tsunami)

## 10月4日時点(BNPB, OCHA)

- ・ 死亡 1,581名
- ・ 重症外傷 2,549名
- ・ 行方不明 113名
- ・ 避難者 71,821名
- ・ 被災家屋 66,238戸

## 10月10日時点(BNPB, AHA, GDACS)

- ・ 死亡 2,045名
- ・ 重症外傷 10,679名
- ・ 行方不明 671名
- ・ 避難者 82,775名
  - うち10,623名はMakassarへ。
- ・ 被災家屋 67,310戸
- ・ 被災学校 2,700
- ・ 被災医療機関 20
- ・ 被災宗教施設 99

## 10月9日

- **インドネシア保健省 健康危機管理局は国内の災害医療チームでの対応で対応可能であると表明し、国際捜索救援チームの受け入れを中断。**

# 医療・公衆衛生の状況

10月9日時点(BNPB, GDACS accessed on Oct. 11)

- ・ 病院は9か所、仮設診療所が1か所、海軍病院船が4隻活動中。
- ・ Sigiの隔離された地域では、ヘリコプターを用いて医療支援がされている。
- ・ Donggala地方ではKabelota病院が非常用発電機で活動しているが、清潔な水が不足している。また、医源性廃棄物の処理施設が停電のため稼働できない。(3台の給水車で1日5000L供給可能)
- ・ 診療所のインキュベータ(詳細不明)も被害を受けた。
- ・ 公共の炊き出し施設も14か所稼働しており、市場も回復しつつある。
- ・ 支援するチームはいかなるものもBNPBへの登録・許可が必要。支援はIndonesian Red Crossを通すこと。
- ・ Paluでは75%通電回復。Sigiでは未回復。7発電所のうち5か所が復旧。
- ・ 燃料供給は通常の75%に回復。来週には通常に戻る見込み。
- ・ 大部分の家屋は井戸でポンプを使用しているため、給電再開されれば水不足は解消へとむかう。

# 被災したPalu市にあるAnutapura Hospital



東北大学医学系研究科と学術交流協定し、中里信和教授がてんかんの遠隔診療を行っています。

# Healthの復旧・復興にむけた対応計画

Indonesia Humanitarian Country Team as of Oct. 5, 2018

- ・ 対象人口191,000人、経費見込み\$7M、担当:保健省(MoH)、支援WHO
- ・ 災害直後の医療ニーズは外傷が中心。
- ・ Healthクラスターは9月28日に立ち上がり、Central Sulawesi保健所で定例会議。
- ・ UNFPAの推定では、地域内には45,306人の妊婦がおり、14,070人は予定日が3か月以内。母子保健のMinimum Initial Service Packageはすでに要求済み。
- ・ 必要な医薬品(慢性疾患、HIV患者など)や輸血、医療資機材の供給
- ・ メンタルヘルス、心理学的なサポートも必要。
- ・ 水の供給不足のため下痢や感染症流行の可能性あり。
- ・ スラウェシでは薬剤耐性のマラリア、はしか、ジフテリア、破傷風の発生が懸念される。
- ・ HIV患者は1900人ほどいて、ARVでの治療率は高くないため、医療従事者や支援者が血液に露出した場合の早急な予防策が必要。

# Healthの再建計画 優先事項

- ・ コーディネーション、情報管理、リスクコミュニケーション、母子保健を含めた技術支援。
- ・ 医療機関の活動状況マッピング
- ・ 出産時最小限キット(MISP)の供給と説明、出産と新生児ケア、家族計画、性的暴行の予防、標準予防策、安全な輸血、感染症の予防など
- ・ 疾患サーベイランスの徹底、感染症、水媒介、昆虫媒介感染症の予防
- ・ サプライチェーン管理(医薬品、輸血)
- ・ 救急医療の提供(母子保健含む)
- ・ 医療相談窓口の開設
- ・ メンタルヘルス、心理サポート
- ・ 受傷者へのリハビリ提供
- ・ 予防接種、感染予防キャンペーンとアウトリーチ
- ・ 水の品質管理、ゴミの管理、病院の感染対策
- ・ WHOとの連携
- ・ 緊急栄養補助